

款	消防費	項	消防費
事業名	消防団車庫整備事業		
施策の大綱名	市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
決算額	15,057千円	財源内訳	国県支出金等 14,300千円 一般財源 757千円

【施策の概要】

老朽化した消防団（第6分団）詰所及び車庫の新築及び解体を行いました。

[平成24年度決算額]

(単位：千円)

区 分	事 業 費	概 要
工 事 費	15,057	《新 築》 小松二丁目9番地 軽量鉄骨造2階建 68.12㎡ 《解 体》 小松二丁目9番地 軽量ブロック平屋建 56.43㎡



土浦市消防団第6分団車庫

【施策の成果】

消防団の消防活動拠点である消防団車庫の整備を図ることにより、消防団の活性化と消防団員の士気高揚に寄与しました。

款	消防費	項	消防費
事業名	消防拠点施設整備事業 《合併特例債事業》		
施策の大綱名	市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
決算額	1,523千円	財源内訳	国県支出金等 14,300千円 一般財源 1,523千円

【施策の概要】

昭和41年に竣工して以来46年が経過し、老朽化・狭あい化した消防庁舎を建て替え、消防拠点として活用できる新消防庁舎を建設します。

- ◎土浦市消防本部新庁舎建設検討委員会  
第4回 平成24年 7月12日（木）開催  
第5回 平成24年10月11日（木）開催  
平成24年10月17日（水）に検討委員会の提言書が市長に提出されました。
- ◎土浦市消防本部新庁舎整備基本計画及び建設予定地の選定  
土浦市消防本部新庁舎建設検討委員会の提言書を基に土浦市消防本部新庁舎整備基本計画を策定し、建設予定地を田中町に選定しました。
- ◎土浦市消防本部消防拠点施設基本実施設計業務プロポーザル選定委員会  
第1回 平成25年 1月 7日（月）開催 公告・プロポーザル説明書検討  
第2回 平成25年 2月18日（月）開催 第1次審査参加表明書による選定  
第3回 平成25年 3月18日（月）開催 第2次審査技術提案書による特定最優秀者及び優秀者が特定されました。

[平成23年度からの繰越]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	998	新消防庁舎整備基本計画策定業務委託
合計	998	

[平成24年度]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
報償費	518	委員報酬
需用費	7	委員会開催時の飲物代
合計	525	
合計	532	

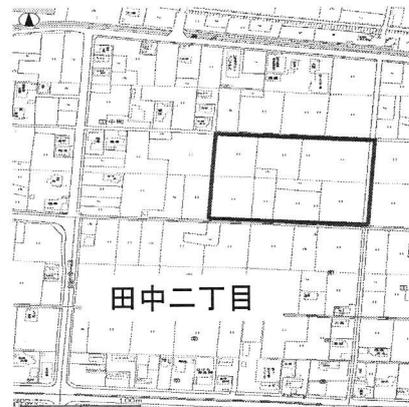
[平成25年度への繰越]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	2,394	新消防庁舎用地測量業務委託
合計	2,394	



現在の消防本部庁舎



建設予定地位置図

【施策の成果】

消防力の基幹である消防庁舎を整備することにより、消防体制の充実を図り、安心・安全なまちづくりに寄与します。

款	消防費	項	消防費
事業名	消防施設改修及び長寿命化事業		
施策の大綱名	市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
決算額	135,998千円	財源内訳	国県支出金等 78,300千円 一般財源 57,698千円

【施策の概要】

市内の消防施設について、耐震診断の結果に基づき、既存建築物の耐震性能の向上及び長寿命化を行い、今後予想される地震災害等に対し、市民の生命、財産を守る消防活動拠点施設としての機能の維持を図りました。

[耐震診断結果]

◎神立消防署……昭和53年築（34年経過）

鉄筋コンクリート造り+鉄骨造り 2階建て

鉄骨造部分は、耐震性能が確保されていない。

鉄筋コンクリート造り部分は耐震性能が確保されているが、コンクリートブロック壁は、改修が必要とされた。

◎荒川沖消防署……昭和49年築（38年経過）

鉄筋コンクリート造り 2階建て

耐震性能は確保されているが、片持ち梁・コンクリートブロック壁・ガラスブロック壁・ひび割れ及び剥落部は、改修が必要とされた。

[平成24年度事業費]

(単位：千円)

区 分	神立消防署	荒川沖消防署	備 考
工事監理業務委託	1,890	2,562	神立署は繰越分
建築主体工事	40,740	52,658	神立署は繰越分
機械設備工事	6,332	6,678	神立署は繰越分
電気設備工事	5,777	8,274	神立署は繰越分
仮設車庫撤去工事	183		
訓練塔仮設撤去工事	572		
外 構 工 事	10,332		荒川沖署は平成25年度
合 計	65,826	70,172	



神立消防署庁舎



荒川沖消防署庁舎

【施策の成果】

消防力の基幹である消防施設を整備することにより、消防体制の充実を図り、安心・安全なまちづくりに寄与しました。

款	消防費	項	消防費
事業名	消防車両更新事業		
施策の大綱名	市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり		
決算額	92,411千円	財源内訳	国県支出金等 86,820千円 一般財源 5,591千円

【施策の概要】

- ◎常備消防用水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）購入
- ◎常備消防用高規格救急自動車購入
- ◎非常備消防用消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型）購入
- ◎非常備消防用小型ポンプ積載車2台購入

(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
常備消防用 水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ）	39,900	「新治消防署配置」 平成9年度配置車両の更新
常備消防用 高規格救急自動車	31,521	「新治消防署配置」 平成14年度配置車両の更新
非常備消防用 消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ）	9,860	「44分団配置」本郷 平成4年度配置車両の更新
非常備消防用 小型ポンプ積載車	11,130	「31分団配置」藤沢2区 「39分団配置」田土部 平成2年度配置車両の更新（2台）
合 計	92,411	



常備消防用水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ）



常備消防用高規格救急自動車



非常備消防用消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ）



非常備消防用小型ポンプ積載車

【施策の成果】

車両の計画的な更新整備を図るため、常備消防用車両2台及び非常備消防用車両3台を購入し、更新配置しました。

款	教育費	項	教育総務費
事業名	学校図書室システム化事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	695千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 695千円

**【施策の概要】**

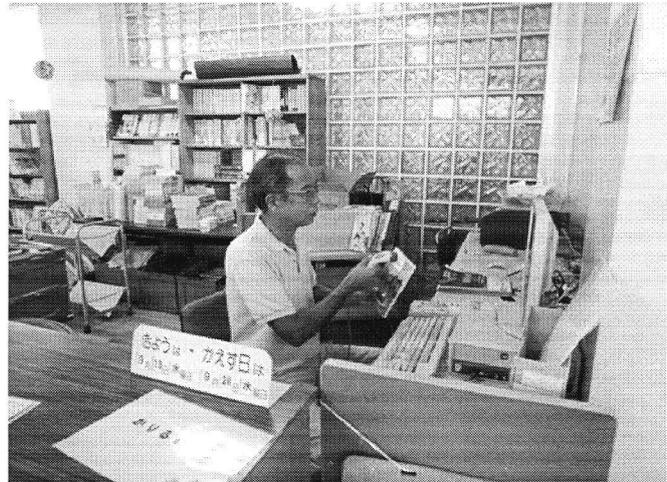
市内小中学校の図書室に図書館電算化システム端末を配置しました。  
 学校図書館の全ての図書をデータベース化することで、児童生徒の図書検索をしやすくし、人気のある本や教科書関連図書、興味のある本を探しやすくなりました。

◎対象校：市内小中学校全27校

平成24年度貸借期間 平成24年9月～平成25年3月  
 貸借料 99,300円/月  
 99,300円×7か月＝695千円



学校図書の貸出し



学校図書検索システム端末

**【施策の成果】**

図書室の蔵書管理の効率化を図ることで、児童の読書意欲が向上しました。  
 司書教諭や学校司書だけでなく、図書委員会の児童生徒も図書システムを使った貸し出しに慣れ、特に小学校では、貸出指数が36.6%から39.5%に伸びました。  
 今後は、各学校における図書システムの効果的な活用を推進し、自ら本を手に取り、本に親しみ、活用したりする、本が好きな子どもの育成を目指します。

款	教育費	項	教育総務費
事業名	「小中一貫教育」推進事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	5,094千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 5,094千円

**【施策の概要】**

子どもの連続的な学びを創造する小中一貫教育の在り方について、パイロット校である真鍋小学校と土浦第二中学校において、平成24年11月に研究発表会を行いました。

その他の小中学校でもそれぞれの学区の状況や児童生徒、教師の要望に応じた取組を始め、市が主催した研修会では、小中学校の連携を円滑に進めるために、各地区の合同研修会や家庭学習の仕方の統一、いじめ撲滅運動の共同開催等について話し合われました。

[平成23・24年度研究テーマ]

心豊かでたくましく、自分の思いや考えを的確に表現できる子どもの育成  
～子どもの連続的な学びを創造する小中一貫教育の推進を通して～

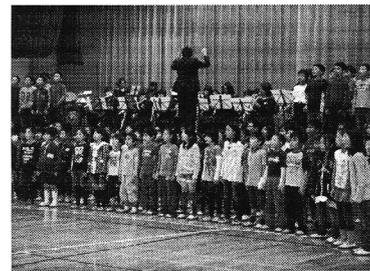
[真鍋小学校・土浦第二中学校での取組]

真鍋小学校と土浦第二中学校では、全ての教職員が次の3部会に分かれ、様々な教育活動や学校行事等における交流活動を行いました。

確かな学力部会：集中して聞き、考えを深め、伝える力の育成 ○学習スキルの統一・相互授業参観と合同授業検討会・小中間乗り入れ授業等
豊かな心部会：地域とのふれあいや異学年交流を通しての思いやりや感謝の心の育成 ○1対1交流、中学生から小学生への絵本の読み聞かせ、文化部・委員会の交流 土浦二中吹奏楽部と真鍋小金管クラブの合同練習会及び音楽会参加等
健やかな体部会：自ら健康で安全な生活ができる児童生徒の育成 ○小中学校を貫く食育に関する指導、小中合同交通安全指導、合同引き渡し訓練等



小中合同授業検討会



中学生と小学生との合同音楽会

(単位：千円)

区分	事業費	概要
報酬	4,946	小中一貫教育推進非常勤講師（真鍋小3名、土浦二中1名）
消耗品費	58	図書等の購入
印刷製本費	80	小中一貫教育についてのリーフレット印刷 配付対象：真鍋小保護者・土浦二中保護者・市内各小中学校 各1部 回覧による周知：土浦二中学区地域住民
報償費	10	合同研修会への講師派遣
合計	5,094	

**【施策の成果】**

本市における小中一貫教育を推進していく上での課題について追究し、具体的な方策について実践的な研究を進め、市内の他の中学校区への指針となるような研究発表会を開催することができました。児童生徒の顕著な変容はまだ見られませんが、交流行事後には多くの児童生徒から喜びや達成感を感じたという感想を聞くことができました。

今後は、真鍋小・土浦二中での取組を基盤に、本市独自の小中一貫教育の在り方を追究していくため、小中一貫教育運営協議会や推進主任会を中心に全市的な研究・実践を進めていきます。

款	教育費	項	小学校費・幼稚園費
事業名	小学校・幼稚園施設エアコン整備事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	163,197千円	財源内訳	国県支出金等 106,100千円 一般財源 57,097千円

**【施策の概要】**

近年の猛暑に対応するため、幼稚園、小学校及び中学校の普通教室にエアコンを設置し、教育環境の向上に努めます。

平成24年度は、市内の幼稚園5園全てにエアコンを設置しました。

小学校は平成24～25年度に、中学校は平成26年度にエアコンを設置する予定です。

**[事業の内容]**

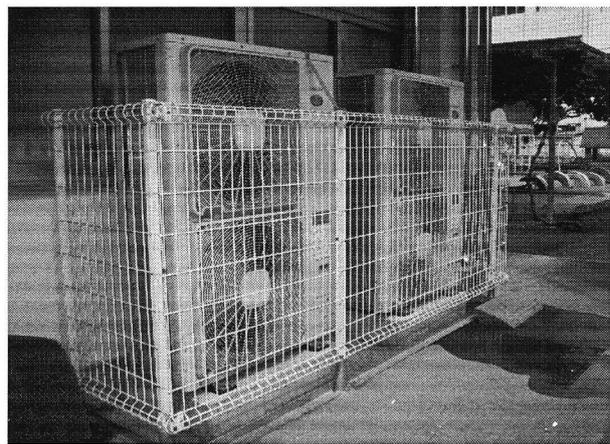
平成24年度	幼稚園5園保育室冷暖房機器設置 小学校エアコン設置工事実施設計業務委託 小学校エアコン設置工事（平成25年度に繰越し）
平成25年度	小学校エアコン設置工事 中学校エアコン設置工事実施設計業務委託
平成26年度	中学校エアコン設置工事

(単位：千円)

区分	事業費	備考
備品購入費	11,550	
委託料	10,185	
工事請負費	141,462	339,114千円は、平成25年度に繰越し
合計	163,197	



室内機（土浦幼稚園）



室外機（土浦幼稚園）

**【施策の成果】**

園児の熱中症対策として、幼稚園にエアコンを設置することにより、良好な保育環境の整備を図ることができました。

今後は、小・中学校の普通教室に順次エアコンを設置していくことで、良好な教育環境の整備に努めます。

款	教育費	項	小学校費
事業名	土浦小学校校舎及び屋内運動場改築事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	480,650千円	財源内訳	国県支出金等 454,533千円 一般財源 26,117千円

【施策の概要】

教育環境の改善を推し進めるため、老朽化が著しい土浦小学校の校舎及び屋内運動場の改築計画を進めています。

平成24年度は、平成23年度に作成した実施設計を踏まえて、建築・電気・機械設備等の工事に着手しました。

[事業の内容]

- |         |   |
|---------|---|
| 平成22年度  | プロポーザル選定委員会を設置し、設計事務所を選定<br>基本設計業務  |
| 平成23年度  | 敷地測量業務委託<br>実施設計業務<br>地質調査業務委託  |
| 平成24年度～ | 工事着工<br>○土浦小学校校舎及び屋内運動場改築建築主体、電気設備<br>機械設備、昇降機設備工事、空気調和設備工事<br>○旧土浦幼稚園園舎解体工事<br>○土浦小学校改築に伴う第1期解体工事<br>○工事監理業務委託<br>○仮設校舎賃貸借 |

(単位：千円)

区分	事業費	備考
委託料	1,874	4,374千円は、平成25年度に繰越し
使用料及び賃借料	35,910	
工事請負費	442,220	536,543千円は、平成25年度に繰越し
役務費等	646	
合計	480,650	

- ・ 建築延床面積 校舎8,097㎡ 屋内運動場880㎡
- ・ 構造及び階数 鉄筋コンクリート造3階建て



外観イメージ

【施策の成果】

平成23年度に作成した実施設計を基に、教育環境の改善を目指し、平成24年度から校舎及び屋内運動場の整備を推進します。

款	教育費	項	小学校費・中学校費・幼稚園費
事業名	小学校・中学校・幼稚園施設耐震化事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	565,954千円	財源内訳	国県支出金等 533,997千円 一般財源 31,957千円

【施策の概要】

耐震補強工事が必要な学校校舎や幼稚園園舎などを、年次計画に沿って補強工事を進めるとともに、老朽化した施設の質的整備を行うことにより、安心安全に学校生活を過ごせるよう教育環境の向上を図ります。

平成24年度は、小中学校各1校の校舎及び幼稚園1園について、耐震補強工事の実施設計を行うとともに、小学校1校及び中学校1校の耐震補強工事を実施しました。

[事業の内容]

- 土浦第二幼稚園園舎耐震補強及び大規模改造工事実施設計業務委託
- 土浦第二小学校校舎棟耐震補強及び大規模改造工事実施設計業務委託
- 土浦第四中学校校舎棟耐震補強及び大規模改造工事実施設計業務委託

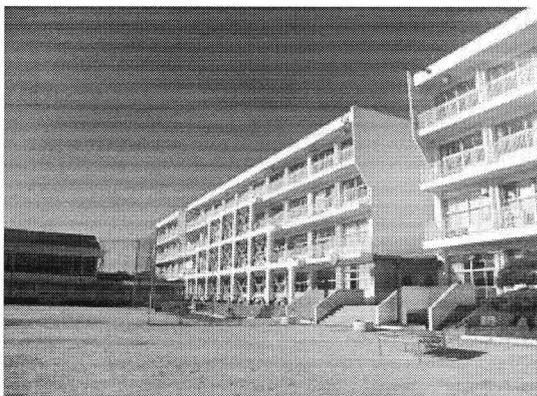
学校名	構造	階数(階)	延床面積(m <sup>2</sup> )	棟数(棟)
第二幼稚園	鉄筋コンクリート造	2	1,126	1
第二小学校	鉄筋コンクリート造	3	4,983	3
第四中学校	鉄筋コンクリート造	4	2,424	2

- 荒川沖小学校特別教室棟耐震補強工事
- 土浦第二中学校校舎棟耐震補強及び大規模改造工事(監理業務も併せて実施)

学校名	構造	階数(階)	延床面積(m <sup>2</sup> )	棟数(棟)
荒川沖小学校	鉄筋コンクリート造	3	729	1
第二中学校	鉄筋コンクリート造	4	5,720	4

(単位：千円)

区分	事業費
委託料	59,464
工事請負費	506,488
その他	2
合計	565,954



第二中学校耐震補強及び大規模改造工事外観



第二中学校整備後昇降口

【施策の成果】

耐震補強及び大規模改造工事を実施することにより、小中学校各1校の耐震性が向上し、児童の安全確保及び学習環境の改善を図ることができました。

款	教育費	項	小学校費
事業名	都和小学校校舎改築事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	28,470千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 28,470千円

【施策の概要】

都和小学校については、教育環境の改善を推し進めるため、老朽化が著しい校舎の改築計画を進めているところです。

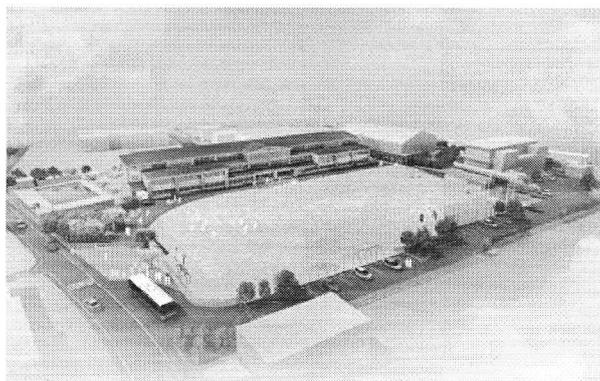
平成24年度は、プロポーザル方式により設計事務所を選定し、基本設計及び校地の測量調査を行いました。

[事業の内容]

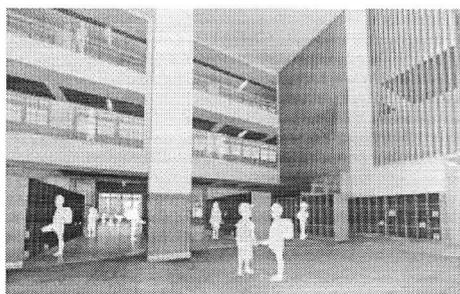
平成24年度	プロポーザル選定委員会を設置し、設計事務所を選定 基本設計業務委託 敷地測量業務委託
平成25年度	実施設計業務委託(予定) 地質調査(予定)
平成26年度～	工事着工(予定)

(単位：千円)

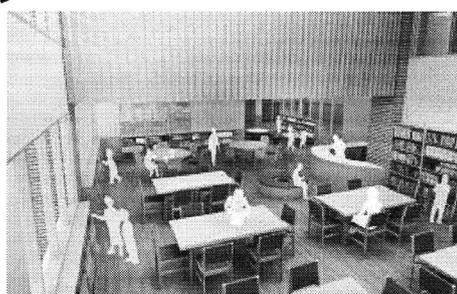
区分	事業費
報償費	317
需用費	13
委託料	28,140
合計	28,470



外観イメージ



内観イメージ(昇降口)



内観イメージ(図書室)

【施策の成果】

基本設計を実施することにより、今後の改築事業に向けて具体的な校舎の景観、大きさ、配置などの方向性を示すことができました。

款	教育費	項	中学校費
事業名	宿泊体験学習事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	15,767千円	財源内訳	国県支出金等 4,885千円 一般財源 10,882千円

【施策の概要】

[内容]

中学校1年生を対象に、4泊5日の宿泊体験学習を実施しています。

・茨城県立中央青年の家を宿泊地とし、次の3つの活動を組み合わせて実施しました。

- ①学校での通常の学校生活（授業、特別活動）
- ②中央青年の家での体験活動
- ③県内の教育関係施設等での体験活動

・宿泊地と学校又は他の施設との間の移動は、大型バス（借上げ又は市教育委員会所有）を利用しています。



中央青年の家での野外炊飯

[各学校の実施期日、参加人数、主な体験活動内容]

(単位：人)

中学校名	実施期日	参加人数	主な体験内容
土浦一中	平成24年10月1日（月） ～10月5日（金）	136	筑波山登山・野外炊飯・音楽鑑賞会 星を見る会・絵手紙制作・学習会
土浦二中	平成24年5月21日（月） ～5月25日（金）	151	オリエンテーリング・野外炊飯・学習会 エキスポセンター見学・奉仕活動
土浦三中	平成24年5月14日（月） ～5月18日（金）	225	オリエンテーリング・野外炊飯・学習会 笠間焼体験・スポーツ大会・創作活動
土浦四中	平成24年9月24日（月） ～9月28日（金）	220	山ビンゴ・野外炊飯・キャンプファイヤー ミュージアムパーク・学習会・奉仕活動
土浦五中	平成24年5月28日（月） ～6月1日（金）	197	歩く会（フラワーパーク見学）・野外炊飯 絵手紙制作・学習会・学年レクリエーション
土浦六中	平成24年6月11日（月） ～6月15日（金）	134	オリエンテーリング・野外炊飯・学習会 コース別体験学習・切り絵制作・奉仕活動
都和中	平成24年6月4日（月） ～6月8日（金）	147	歩く会・野外炊飯・星座観察・学習会 落語寄席体験・キャンプファイヤー・笠間焼体験
新治中	平成24年6月18日（月） ～6月22日（金）	69	山ビンゴ・野外炊飯・キャンプファイヤー 学習会・笠間焼体験・勾玉制作体験

[各学校の活動の特徴]

- ・夜間（就寝前）に学習会を実施して、学校の先生や指導員の先生方のサポートを受けながら、個別の課題に取り組む時間を設定しています。
- ・女性の人権問題を解決するための活動を行っている団体である「うららフレンドハウス」の皆さんに講師をしていただき、講話や寸劇、ワークショップなどを通して、「男女共同参画社会を考える研修会」を実施しています。

【施策の成果】

- ・共同宿泊生活を体験することにより、友人関係が広がり、お互いを認め協力し合う態度を養うきっかけとなっています。
- ・中学生としての望ましい集団活動を実践していく土台としての、集団の一員としての態度や規範意識、我慢する心などを身に付けるきっかけとなっています。
- ・起床、就寝時間の徹底や集団での入浴、食事等、規則正しい生活を送ることにより、日常生活における健康と安全について実感する機会となっています。

款	教育費	項	社会教育費		
事業名	教育普及事業・調査研究事業				
施策の大綱名	心の豊かさたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり				
決算額	6,822千円	財源内訳	国県支出金等	一般財源	6,822千円

### 【施策の概要】

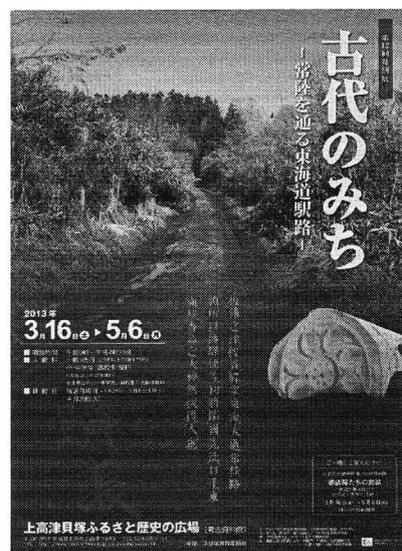
教育普及活動の更なる充実を図るために、考古資料を活用した特別展や企画展を開催しました。また、調査研究事業については、土浦市の歴史を解明すること及び調査成果を教育普及事業に活かすことを目的として実施しました。

#### [教育普及事業]

- 第12回特別展「古代のみち―常陸を通る東海道駅路―」  
会期：平成25年3月16日（土）～平成25年5月6日（月）  
内容：奈良時代に整備された道路についてスポットを当てました。この道路は、都から各地へ通じる直線的な道路で、痕跡が全国的に発見されています。本市内も、石岡市の国府に向かう道路が通っており、その痕跡を確認することができます。展示では、現在の風景に残る古代道を通して、地域の文化遺産を再発見していただくことを目指し、歴史的な役割と周辺の遺跡を紹介しました。

関連事業（平成24年度）：

特別展講座「古代官道を探る（第1回）」など



- 第17回企画展「海と河と縄文人―霞ヶ浦の古環境と遺跡―」  
会期：平成24年3月17日（土）～平成24年5月13日（日）  
内容：縄文時代の霞ヶ浦周辺の様子や、豊かな水資源の恵みを受けて暮らした縄文人の生活について紹介しました。自然科学の研究成果や遺跡から発見された考古資料を基に、縄文時代の環境や暮らしの様子を復元しました。

関連事業： 記念講演会「貝塚の貝から分かる縄文時代の環境」、史跡めぐり「霞ヶ浦から遺跡を巡ろう」など

#### [調査研究事業]

- 土浦城跡（土浦小学校地区）整理調査  
平成23年度に発掘調査を実施した土浦城跡（土浦小学校地区）の整理等を実施しました。
- 法雲寺学術調査  
法雲寺は、高岡地区に所在し、鎌倉時代の終わり頃に建てられた寺院です。国指定重要文化財を始め、多くの指定文化財を有し、筑波山麓周辺地域における中核的な寺院として注目されています。平成24年度は、五輪塔や板碑などの石塔群と発見された瓦の記録作業を行いました。

### 【施策の成果】

特別展と企画展は、道や霞ヶ浦という身近なテーマを取り上げたこともあり、多くの方々に観覧いただきました。また、講座や史跡巡りなどの関連事業も参加者が多く、生涯学習の推進を図ることができました。

調査研究事業では、本市の歴史の解明に役立つ基礎的な資料の蓄積を図ることができました。

款	教育費	項	社会教育費
事業名	土浦薪能開催事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	5,000千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 5,000千円

【施策の概要】

古典芸能の振興と市民文化の高揚を図るため、土浦薪能倶楽部の土浦薪能事業に対して、事業費の一部を助成しました。

[開催日時] 平成24年9月15日(土)

第1部 第3回21世紀を担う土浦能楽大会

第2部 第15回土浦薪能

第1部 開場：12時30分

開演：13時00分～16時00分

第2部 開場：18時00分

開演：18時30分～20時30分

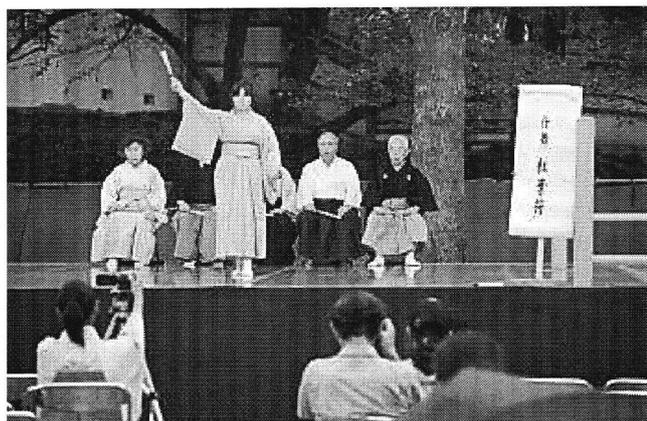
[会場] 土浦城址本丸

[曲目・演者]

	曲目	演者
1部	舞台発表	21世紀を担う土浦能楽の会
2部	能楽座(狂言)千鳥	山本則俊他
	能楽座(能)邯鄲	梅若玄祥, 大槻文藏, 宝生閑他

[入場者数] (単位：人)

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
人数	640	560	647	450	381



第1部  
「21世紀を担う土浦能楽の会」



第2部  
「能楽座(能) 邯鄲」

【施策の成果】

土浦能楽大会では、子ども達による謡と仕舞により、子ども達の能に対する関心が高められました。また、土浦薪能では、プロによる能、狂言を市民に鑑賞いただき、伝統文化についての興味や理解を深め、市民の文化意識の向上を図ることができました。

款	教育費	項	社会教育費
事業名	文化協会40周年記念事業		
施策の大綱名	心の豊かさたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	2,100千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 2,100千円

**【施策の概要】**

本市の文化の振興発展のため、様々な文化芸術活動を展開する土浦市文化協会の設立40周年記念事業に対して支援を行いました。

**[記念事業の概要]**

テーマ：「未来に伝えよう文化の輪」

実施日：平成24年11月3日（土）

記念式典：10時～12時 あいさつ、大道芸のパフォーマンスショーほか  
 記念公演：14時～16時 中島啓江氏の「伝えたいコンサート」公演  
 展示発表：10時～16時 文化協会加盟団体による作品展示、ポスターセッション

会場：土浦市民会館

記念式典：前庭  
 記念公演：大ホール  
 展示発表：会議室、ロビー等

来場者数：2,000人

**後援団体**

- 土浦青年会議所・土浦農業協同組合
- 土浦商工会議所・土浦市医師会
- 朝日新聞水戸総局・毎日新聞水戸支局
- 読売新聞水戸支局・東京新聞水戸支局
- 茨城新聞水戸支局・常陽新聞新社
- 常陽リビング社



展示発表



記念式典



記念公演  
中島啓江氏『伝えたいコンサート』

**【施策の成果】**

一昨年度から企画を始め、文化協会と一丸となって準備を進めてきました。この間、文化協会会員相互の結束がさらに強固なものとなり、本市の文化の一層の発展に寄与することができました。

款	教育費	項	社会教育費
事業名	新治地区公民館建設事業 《合併特例債事業》		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	294,280千円	財源内訳	国県支出金等 278,200千円 一般財源 16,080千円

【施策の概要】

新治地区公民館は、開館後39年が経過し、施設の老朽化が著しいことから、利用者の学習環境の改善を図るため、建物の建て替えを開始しました。

[新治地区公民館の現況]

開館 昭和49年7月  
延床面積 1,290.86㎡  
構造 鉄筋コンクリート2階建て

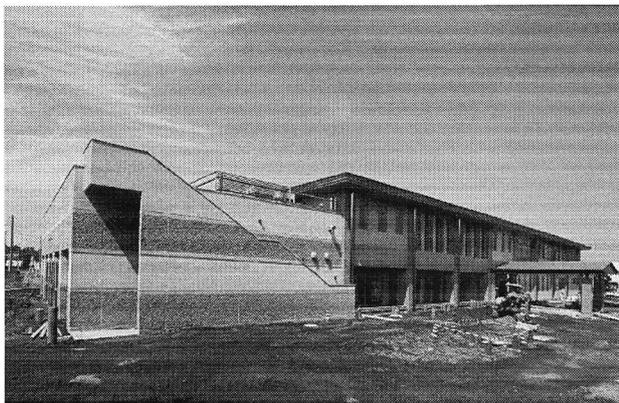
[事業の内容]

平成23年度 地質調査、測量調査、基本・実施設計  
平成24年度 用地取得・着工  
平成25年度 10月竣工予定

(単位：千円)

区分	事業費	備考
委託料	45,621	うち、30,845千円は、平成23年度繰越分
工事請負費	638,749	
公有財産購入費	21,585	
事務費	129	
合計	706,084	うち、411,804千円を平成25年度に繰越し

- ・ 建築延床面積 1,888.38㎡
- ・ 構造 鉄筋コンクリート2階建て
- ・ 公民館の中に図書館分館 (313㎡) を整備
- ・ エレベーター、太陽光発電設備、雨水利用設備、蓄電設備等を備え、バリアフリー化や災害に対応し得る施設を整備



新治地区公民館工事現況  
(外観東側より)



1階ギャラリーラウンジ  
工事現況

【施策の成果】

立ち寄りやすく親しみやすい公民館を目指し、利用者の学習環境の改善や、障害者や高齢者に対する利用環境の改善に寄与します。また、図書館分館併設により、複合施設としての相乗効果も期待されます。

款	教育費	項	社会教育費
事業名	「土浦の歴史と民俗」映像制作事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	3,360千円	財源内訳	国県支出金等 2,000千円 一般財源 1,360千円

【施策の概要】

無形民俗文化財の保護や伝統行事継承への貢献を目的として、平成元年から本市の歴史と民俗に関わる映像制作事業を行ってきました。映像によって伝統行事を記録保存し、後世に伝えていきます。

平成23年度及び平成24年度に「田宮囃子」（茨城県指定無形民俗文化財）を取り上げ、映像制作を実施しました。

[平成23・24年度の事業概要]

◎映像制作（新治地区の祭礼）

◆田宮囃子（県指定無形民俗文化財）

平成23年度 シナリオ制作 787千円

平成24年度 撮影，編集，映像制作 3,360千円



「田宮囃子」の撮影風景



「田宮囃子」の伝承撮影風景

【施策の成果】

新治地域の貴重な無形民俗文化財である「田宮囃子」の現状を、映像で記録することができました。博物館で来館者に公開し、分かりやすく「田宮囃子」の概要と歴史を紹介します。また、田宮囃子保存会の活動を紹介することで、他の地区での伝統芸能や伝統行事の保護や伝承を啓蒙し、地域活性化の手本となります。

款	教育費	項	社会教育費
事業名	重要資料公開推進事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	15,386千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 15,386千円

【施策の概要】

市立博物館では、土浦の歴史と文化についての研究成果を広く市民に公開しています。地域の歴史や資料を身近に感じていただくために、国宝・重要文化財等重要資料を公開する展覧会の充実を図り、毎年特別展、企画展、テーマ展等を開催しております。

平成24年度は、次の展覧会を開催しました。

○第33回企画展「土屋政直－土浦藩主の横顔－」

平成24年3月17日（土）～5月6日（日），入館者数：5,073人

土浦藩の基礎を築いた土屋政直に迫り、土浦藩の藩主を通して見えてくる江戸時代初期の大名の姿を紹介しました。

○夏休みテーマ展「記録された天変地異－土浦の洪水・地震・大風－」

平成24年7月21日（土）～9月2日（日），入館者数：2,569人

土浦の災害について、洪水のほか、地震や大風などの過去の災害に関する資料を紹介しました。

○特別公開「土屋家の刀剣－国宝・重要文化財の公開－」

平成24年9月22日（土）～10月14日（日），入館者数：1,456人

土浦藩土屋家刀剣のうち、国宝や国指定重要文化財を特別公開しました。合わせて、土屋家の起こりについて、錦絵等で紹介しました。

○第34回企画展「亀城公園のひみつ－お城から公園へ－」

平成24年11月3日（土）～12月16日（日），入館者数：3,163人

東日本大震災で被災した東西の櫓と櫓門の修復が完了したことを機に、土浦城址が公園となるまでの変遷を紹介しました。

○第34回特別展「婆娑羅たちの武装－戦国を駆け抜けた武将達の甲冑と刀剣－」

平成25年3月16日（土）～5月6日（月），入館者数：28,057人

開館25周年を記念して、戦国時代に活躍した全国の武将たちが所持した甲冑や刀剣を一堂に集め、人気ゲームソフト「戦国BASARA」の制作会社と共催し、大規模に開催しました。



第33回企画展展示解説会



開館25周年記念  
第34回特別展ポスター

【施策の成果】

重要文化財など、地域の歴史に関わる貴重な資料を収集公開し、それらを紹介することで地域文化の向上に貢献しました。また、開館25周年を記念して大規模な特別展を開催し、幅広い歴史ファンへのPRと情報発信に努めました。

款	教育費	項	社会教育費
事業名	放課後児童クラブ推進事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	226,786千円	財源内訳	国県支出金等 108,884千円 一般財源 117,902千円

【施策の概要】

[児童クラブ室整備] (単位：千円)

区分	事業費	概要
下高津小学校第2児童クラブ室移設, 第3児童クラブ室増設工事	26,218	学校敷地内専用クラブ室
荒川沖小学校第1, 第2児童クラブ室移設工事	36,225	学校隣接地内専用クラブ室
乙戸小学校第2児童クラブ室増設工事	16,905	学校敷地内専用クラブ室
合計	79,348	

[その他の経費]

指導員報酬131,182千円, 工事請負費3,895千円, 修繕料1,892千円, 備品購入費1,763千円, 報償費2,193千円, 消耗品費等6,513千円

[児童クラブ入所状況] (単位：人)

年度	小学校1～3年生	うち児童クラブ入所児童	入所割合
平成22年度	3,947	1,065	26.5%
平成23年度	3,860	1,121	29.0%
平成24年度	3,780	1,149	30.4%

※うち、夏休み期間中の4年生入所状況（平成24年度）  
入所クラブ数：10クラブ、入所児童数：47人



下高津小学校児童クラブ



荒川沖小学校児童クラブ

【施策の成果】

大規模児童クラブの分割、増設及び移設により、児童の衛生面や安全面等の環境整備を図ることができました。また、女性の就労や少子化が進む中で、子育てと仕事の両立を支援することができました。

款	教育費	項	保健体育費
事業名	川口運動公園整備事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	3,917千円	財源内訳	国県支出金等 1,312千円 一般財源 2,605千円

**【施策の概要】**

野球場管理棟（バックネット裏観覧席）の耐震診断調査及びダックアウトベンチの拡張工事を実施しました。

**[野球場管理棟耐震診断調査業務委託]**

○事業費：2,625千円

○建物概要

- ・ 構造：鉄筋コンクリート造
- ・ 建築年度：昭和48年度（築40年経過）
- ・ 建築面積：257.5㎡

○耐震診断方法

「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説」に準拠した第2次診断法による耐震診断を実施しました。

○判定結果

将来想定される地震に対して、川口運動公園野球場管理棟の主体構造は、建物の耐震性能を表す指標である「構造耐震判定指標」（I s 値0.6）を上回っている（耐震性能が確保されている）と判定されました。

**[野球場ダックアウト（選手用ベンチ）拡張工事]**

○事業費：1,292千円

○工事概要

- ・ 間口延長：8.8m ⇒ 11.8m（3m延長）



野球場ダックアウト（1塁側）

**【施策の成果】**

管理棟は耐震診断の結果、将来想定される地震に対して、設定した耐震性能が確保されている建物と判定されたことにより、地震等の際に観客等に対する安全性が確保されていることが確認されました。また、ダックアウト（選手用ベンチ）の間口を拡張することにより、選手等の利便性の向上を図ることができました。

款	教育費	項	保健体育費
事業名	(仮称) 荒川沖地区市民運動広場整備事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	2,814千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 2,814千円

【施策の概要】

本市の南部（中村西根外）地区に多目的運動広場を整備するための土地（17,864㎡）を購入しました。

[用地買収の状況]

- 土地の所在：土浦市中村西根字砂久保1984番18 外7筆
- 買収面積：17,864㎡  
※計画面積＝23,119㎡（残5,255㎡については、借地予定。）
- 地権者数：3人
- 買収金額：188,070千円（土地開発基金活用）
- 補償金額：29,293千円（土地開発基金活用）

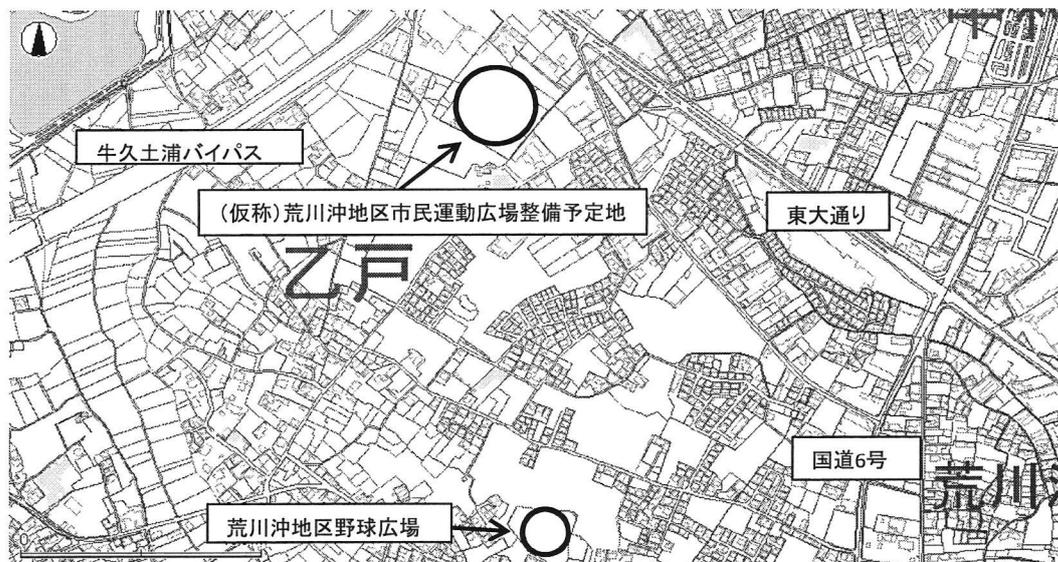
[事業費]

(単位：千円)

区分	事業費
印紙代	110
補償料算定業務手数料	2,205
分筆測量業務委託料	499
合計	2,814

[今後のスケジュール]

- ・平成25年度：土地賃貸借契約の締結（10月～）  
基本設計・実施設計業務
- ・平成26年度：整備工事
- ・平成27年度：供用開始  
荒川沖地区野球広場解体撤去及び土地の返還



【施策の成果】

計画面積23,119㎡のうち17,864㎡（約77%）の用地買収を行いました。  
残りの5,255㎡（約23%）については、平成25年10月から借地することで、土地所有者の了承を得ていることから、計画面積全体を確保することができる予定です。  
今後は、平成27年度の供用開始に向けて、運動広場の整備を進めていきます。

款	教育費	項	保健体育費
事業名	土浦市立第二学校給食センター調理業務等委託事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	89,985千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 89,985千円

**【施策の概要】**

給食内容の充実及び運営の効率化を図り、安全でより衛生的な学校給食を提供するため、第一学校給食センターに続き、第二学校給食センターにおいても調理業務等の民間委託を実施しました。

○調理業務等委託業者：(株)東洋食品

※委託業者の選考については、平成23年度中にプロポーザル方式により調理技術力、衛生管理等を審査した結果、安心して安全なおいしい学校給食の実現のための業務体制が明確であり、学校給食の受託実績が豊富である業者に決定しました。

○委託期間

平成24年4月1日～平成27年3月31日

○調理数

1日 6,200食



調理業務委託による調理状況

**【施策の成果】**

調理業務等の民間委託により、労務管理等の合理化や衛生面において民間業者が有するノウハウが活かされ、より豊かな学校給食の提供に寄与することができました。

款	教育費	項	保健体育費
事業名	土浦市立学校給食センター基本構想策定事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	1,042千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 1,042千円

【施策の概要】

土浦市立第一学校給食センター（昭和45年竣工）及び第二学校給食センター（昭和50年竣工）については、施設設備の老朽化及び耐震基準や学校給食衛生管理基準への対応など、解決すべき課題があるため、新たな学校給食センターの整備に向けて、平成24年度及び平成25年度の2か年で基本構想を策定します。

基本構想の策定については、学識経験者等による「土浦市立学校給食センター再整備基本構想策定委員会」を設置し、本市の目指す新学校給食センターの施設整備方針等について検討を行っています。

土浦市立学校給食センター再整備基本構想策定委員会 開催状況

日程	議題	内容等
第1回	1 策定委員会の設置趣旨・スケジュールについて 2 土浦市立学校給食センターの現状と課題について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正副委員長の選出</li> <li>・基本構想策定に向けた委員会開催スケジュール及び協議・検討事項の確認</li> <li>・2センターの現状，学校給食センターの整備基準と給食センターの課題について整理した。</li> </ul>
第2回	1 求められる学校給食機能の整理について 2 新センター整備に係る比較検討について 3 設計と条件・関係法令の整理について 4 建設用地の検討について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「安心・安全」につながる設備・機能を有した学校給食センター，望ましい食環境が提供できる学校給食センター，食育・地産地消が推進できる学校給食センターなど，5つの基本方針を定めた。</li> <li>・施設整備について1センター方式と2センター方式を比較検討した。</li> <li>・今後の用地選定に係る評価項目を検討した。</li> </ul>
第3回	施設整備計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備の規模及び機能構成について，基本的方針を検討した。</li> <li>・概算事業費については，先行事例などを参考に算定・提示した。</li> </ul>

[平成25年度開催予定]

- ・ 第4回委員会…事業手法の検討
- ・ 第5回委員会…基本構想（素案）の作成
- ・ 第6回委員会…基本構想（案）の作成

【施策の成果】

本市の目指す学校給食センターの方向性を示す基本構想の策定に向けて、学識経験者等で構成する「土浦市立学校給食センター再整備基本構想策定委員会」での協議検討を重ね、新たな学校給食センターの整備更新に向けて着実に取り組んでいます。

款	災害復旧費	項	土木関係災害復旧費
事業名	住宅復旧補助事業		
施策の大綱名	市民の生活と財産を守り，安心・安全な，明るいまちづくり		
決算額	130,416千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 130,416千円

【施策の概要】

東日本大震災により，多くの住宅が被害を受けたことから，緊急特別措置として，住宅の修繕工事に要した費用の一部を助成する事業を実施しました。

- 対象となる住宅  
震災により被災した自己用住宅（借家を含む。）

対象となる修繕

住宅の屋根，外壁，床，階段，基礎等及び塀の修繕

※ただし，被災者生活再建支援制度の支援を受ける場合は，助成事業の対象外となります。

- 助成額

修繕費用	助成額
1万円以上10万円未満の場合	1万円
10万円以上の場合	修繕費用の30%を助成 ※限度額10万円

- 実績

(単位：千円)

	助成件数	助成額
平成23年度	3,281件	277,391
平成24年度	1,532件	130,416
計	4,813件	407,807

[主な修繕内容]

住宅の屋根瓦，内壁，外壁，基礎，玄関や浴室のタイル，塀の破損による修繕

【施策の成果】

東日本大震災により被災した住宅等の修繕費の一部助成を行うことにより，被災者の方々の負担を軽減するとともに，本市全体の復興に向けた意識の向上に寄与しました。

款	災害復旧費	項	文教関係災害復旧費
事業名	指定文化財等復旧事業		
施策の大綱名	心の豊かさとたくましさを育む教育の推進と、子どもや市民の明るさがあふれるまちづくり		
決算額	9,812千円	財源内訳	国県支出金等 一般財源 9,812千円

【施策の概要】

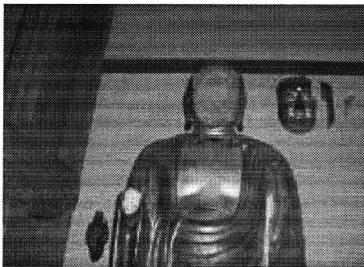
貴重な文化財を次の世代に残していくために、東日本大震災により被災を受けた県・市指定文化財の所有者に対して、指定文化財を復旧・修復するための費用の一部を助成しました。

○平成24年度実績

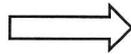
(単位：千円)

事業名	助成額	事業概要
県指定建造物「矢口家住宅」修理費補助金	9,476	平成24年度～平成27年度 ・「店蔵」「袖蔵」「元蔵」等の修復工事
市指定彫刻「木造阿弥陀如来立像」修理費補助金	336	転倒した時に破損した面部、手、足、台座等の補修。漆箔後、古色付け
合計	9,812	

市指定彫刻「木造阿弥陀如来立像」

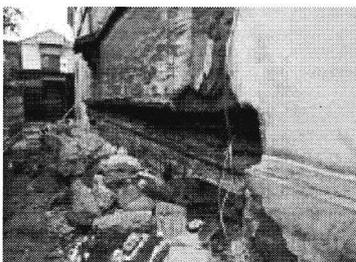


〔修復前〕

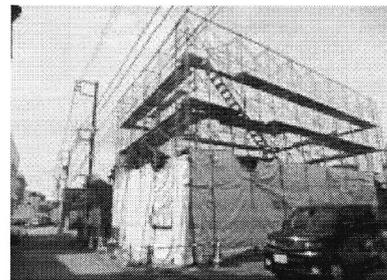
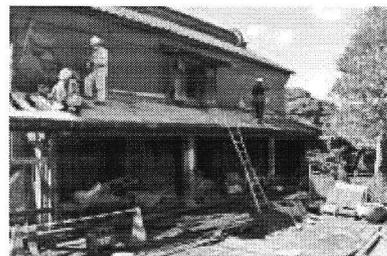
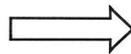


〔修復後〕

県指定建造物「矢口家住宅」



〔修復前〕



〔修復中〕

【施策の成果】

東日本大震災により被災を受けた文化財に対して、文化財の所有者に修復費用の一部助成を行うことにより所有者の負担を軽減することで、貴重な文化財を次の世代に引き継ぐことができました。

矢口家住宅については、修復期間が平成24年度から平成27年度までの4か年であるため、引き続き文化財修復の助成をしていきます。